

浄化技術を向上

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕理事長)は16日、東京・竹橋のKKRホテル東京で総会を開き06年度の事業計画などを決めた。冒頭、原理事長は「公共事業の削減などで厳しい環境にあるが、われわれにとって大事なのは技術の向上であり、それが



発注者の信頼を得ることにつながると思う。協会を設立して8年目を迎える。ミラクルソルを用いた水質浄化など新しい分野の技術を高めていきたい」とあいさつした(写真)。

ミラクルソルは、ガラス廃材の再資源化を図る

目的で開発され、軽量地盤材、緑化用保水材、水質浄化材などに利用されている。